

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2 年 2 月 2 0 日 更新

事務事業名		防犯灯整備事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	4	生活環境の健康			所属部	総務部	課長名	木永 和博
	施 策	17	防犯対策の推進			所属課	交通防災課	担当者名	高来 登
	施策の柱	54	防犯に関する環境整備			所属班	交通防災班	(内線)	1244
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 4	事業連番 10025	根拠法令	防犯灯等整備対策要綱(閣議決定)	
終了、開始年度		☐ 30年度で終了 ☐ 30年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 48 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・施設関係や幹線道路の通学路(区で設置するもの以外)などで未整備路線への防犯灯新設や、市が設置している防犯灯の修繕、電気料の支払い等維持管理を行う事業である。 平成25年度に、市が管理している防犯灯については、国の補助を受けて、全てLED化し、併せて設置データをデジタル化した。
【業務の流れ】	・地域(区、学校)からの要望、地域と協議、設置の有無の決定、設計書作成、契約事務、工事立合い 検査、電気料の申請、支払い・市民・通行者からの連絡の受理、現地確認、修繕の発注、確認検査、支払い
【主な予算費目】	・需用費(光熱水費、修繕費)
【意見や要望】	・保護者、区長、学校より暗がり、犯罪の危険性があることから早急な設置要望がある・設置場所次第では、近隣者より明るくて眠れない。また、農作物が育たないとの苦情がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)		31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
・市内の幹線道路に新設防犯灯の設置及び既設防犯灯の修理を行い、防犯対策として環境整備を行なった。		・市管理防犯灯の電気料を支払い。 ・市管理防犯灯不具合分の修繕。 ・市道等に防犯灯を設置する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 年度工事回数	回	・防犯灯電気料値上分と新たなアンビー熊本防犯灯移管による電気料による増。
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
・市民		→ ア 人口
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・夜間においても安心して通行できるようになる		→ ア 新設防犯灯の設置件数(市)
		→ イ 既設防犯灯の修繕件数(市)
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
・「夜間においても安心して通行できるようになる」には、市設置分の新設防犯灯、不具合の防犯灯をどれだけ修繕できたか、で判断する。		0

(2)各指標・総事業費 の推移		単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	2年度 予定	3年度 見込	4年度 見込
① 活動指標	アイ	回	21	7	1	7	1	1	1	1
② 対象指標	アイ	人	61,022	61,652	61,500	62,265	62,000	62,500	63,000	63,500
③ 成果指標	アイ	件	8	19	10	16	10	10	10	10
	イ	件	13	0	5	8	5	5	5	5
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円				1,000	1,000		
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	7,909	6,352	5,568	4,877	4,836	6,000	6,000
	(A) 事業費計	千円	7,909	6,352	5,568	5,877	5,836	6,000	6,000	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	2	3	3	4	0	0	0
		延べ業務時間	時間	200	200	265	300	0	0	0
		(B)人件費計	千円	0	791	1,055	1,182	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	7,909	7,143	6,623	7,059	5,836	6,000	6,000	0

事務事業名	防犯灯整備事業	所属部	総務部	所属課	交通防災課
-------	---------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は30年度的事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②31年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 ・30年度では、通学路防犯灯の設置等に備え、予算としては、設置費用21基、改修5基を計上し、目標達成に努める。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 ・市民からの防犯灯設置の要望は多く、要望箇所の調査を十分に行い、計画的な設置に努めていくことで、成果の向上余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・市が行う防犯灯設置に関する事業は、本事業のみである。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 ・平成25年度事業で、国庫補助を受けて市が管理する防犯灯827基をLED化を実施。通学路等に新設予定であるが最低限の予算で対応しており削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・電気料の支払い、修繕や工事発注事務に要する人件費のみである。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ・区で対応しない通学路等の主要道路について、市で整備するものであり、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 ・各区内の防犯灯の整備、維持管理については各区で行い、それ以外の不特定多数の人が利用する幹線道路などについて市で整備、維持管理を行っている。

3 評価結果の総括（CHECK）

・更なるLED化を行っていく

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												